

泌乳ステージに応じた乳牛への 飼料用粃米(生粃SGS)多給技術 (中間成績)

生粃SGS(ソフトグレインサイレージ)は、
収穫した飼料用米(生粃米)を乾燥させずに、
そのまま破碎処理し、フレコンなどに密封保存
してサイレージ化(乳酸発酵)したものです。

メリット

- ①消化率が向上する。②嗜好性が高い。
- ③乾燥や粃すりの手間がかからずコスト削減。
- ④長期保存できる(約1年)。

デメリット

サイレージ調製する手間・コストがかかる。
(粃米・玄米でも粉碎は必要)



(写真1 調製作業)



(写真2 生粃SGS)

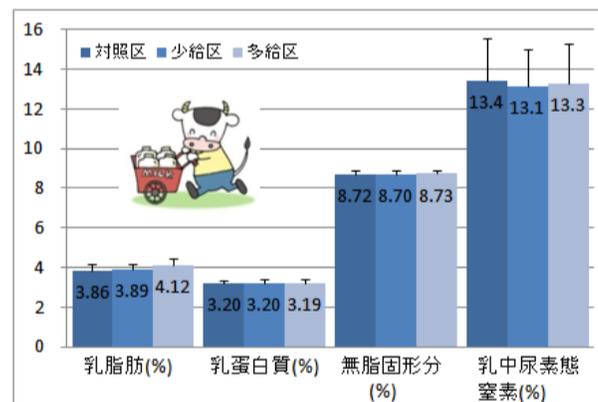
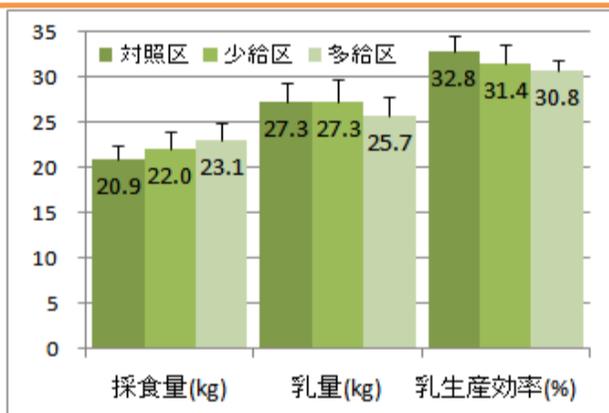
粉碎(破碎)した粃米や玄米と同様に、乳牛への飼料用米の給与形態の一つです。

目的:「生粃SGS」の飼料特性を明らかにするため、濃厚飼料の一部を「生粃SGS」で代替した場合の泌乳中後期牛の乳生産や健康に及ぼす影響について検討しました。

試験区分: 対照区 生粃をSGS給与しない慣行メニュー (CP16.1%、TDN73%、NDF41%、NFC31.6%)
少給区 濃厚飼料の約3割(27%)を生粃SGSで代替 (CP15.5%、TDN73%、NDF38%、NFC36.2%)
多給区 濃厚飼料の約5割(46%)を生粃SGSで代替 (CP15.2%、TDN73%、NDF36%、NFC38.9%)
給与方法: 分離給与方式で定時給与。濃厚飼料は1日に4回の給与(日中4時間おき)

結果1: 生粃SGSを3割代替給与(少給区)しても、乳量、乳成分率に影響なし。

生粃SGSを5割まで代替給与(多給区)すると、乳量や乳生産効率が低下する傾向がある。



濃厚飼料の3割代替は全く問題ないことが分かりました。「生粃SGS」はルーメン内での消化が速いため、多給(5割代替)にはあまり適さないようです。※消化率等について分析中

結果2: 3割代替で約1割の飼料費の低減が図られる。

各農家の条件(飼養形態や給与メニュー、作業機械など)に合わせて、飼料用米の給与形態は選択することができます。「生粃SGS」は、乾燥や粃すりの手間がかからないことから、稲作農家にとっても大きなメリットとなります。飼料用米を核とした地域循環型農業の推進のため、地域一体で取り組んでみてはどうでしょうか。

